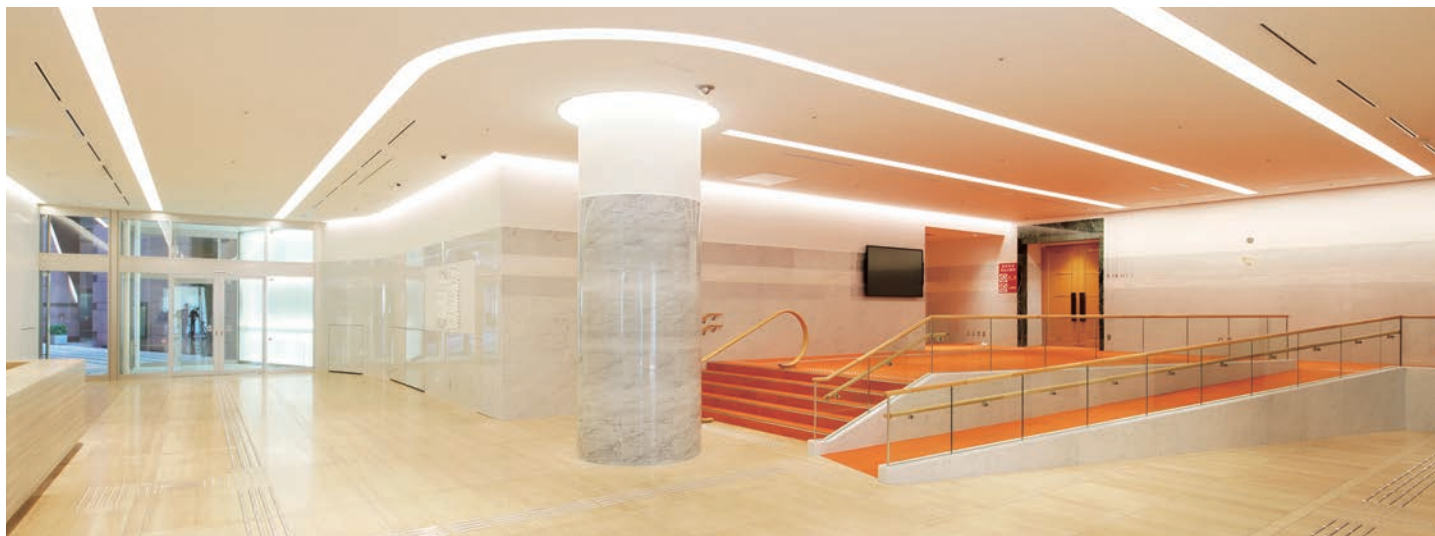


TOP MUSEUM



東京都写真美術館ニュース eyes88号 LINE UP

2016年9月3日(土)リニューアル・オープン!

館内フロアマップ

展覧会スケジュール(2016年9月-2017年3月)

お得な年間パスポートが新登場! TOP MUSEUM PASSPORT

支援会員のご案内

ようこそトップミュージアムへ！ 東京都写真美術館 館内マップ

東京都写真美術館は、写真と映像に関する総合的な専門美術館です。地下1階から地上4階まで、エレベーターや階段を使って移動できるバリアフリーの建物です。館内をめぐって写真と映像の世界をお楽しみください。

2F 南口

目黒方面から2階の南口に入ると吹き抜けロビーが広がります。まずは、時間を忘れてゆったりとした空間でおくつろぎください。チケットをお求めの方は、エレベーターで1F総合受付までお越しください。



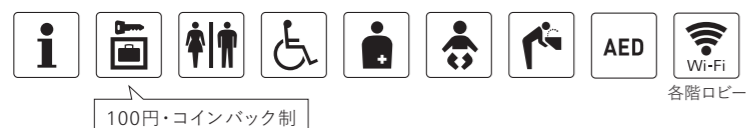
1F 出入口 (JR恵比寿駅方面)

多くのお客様がご利用になる1階のメインエントランス。光をふんだんに取り入れた入口と、明るく広々としたロビーが特徴です。本日のイベントなどが一覧できるご案内を用意しています。(JR恵比寿駅から徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅から徒歩約10分)



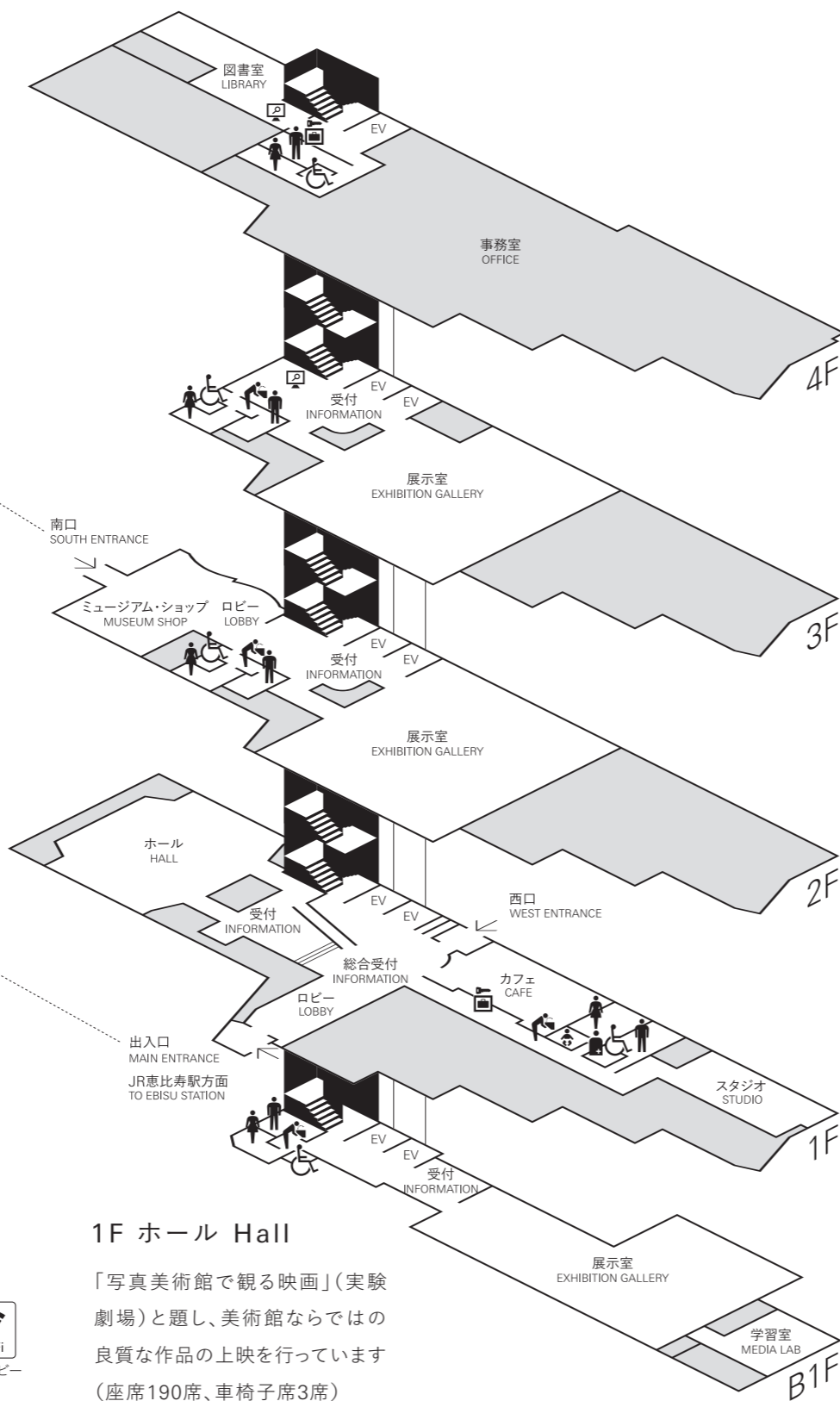
1F 総合受付 (チケットカウンター)

展覧会と上映のチケット、年間パスポートなどを販売しています。お客様のご質問にもお答えいたします。お気軽におたずねください。



1F カフェ メゾン・イチ Cafe Maison ICHI

MAISON ICHI BOULANGER-PÂTISSIER-TRAITEUR-CHARCUTIER
本格的なピストロメニューがそろったミュージアム・カフェです。北海道産小麦と液体天然酵母から作る自慢のパンと自家製タルトクッシュ、オーガニックハーブティーやコーヒーなど、ゆったりとしたひとときをお楽しみください。
□営業時間／10:00-20:00



1F ホール Hall

「写真美術館で観る映画」(実験劇場)と題し、美術館ならではの良質な作品の上映を行っています(座席190席、車椅子席3席)

1F スタジオ studio

写真・映像関連のワークショップ、スクールプログラムなどの教育普及活動を行っています。広々とした学びのスペースのほかに、暗室が設けられています。

4F 図書室

写真・映像の専門図書室です。国内および海外で出版された写真集、作品集を中心に、評論集や写真史・映像史に関する図書、技法書、美術書、展覧会図録、専門雑誌、パンフレット、リーフレット、新聞・雑誌等の切り抜きなど豊富な資料を収蔵しています。

□開室時間10:00-18:00 ※閲覧は図書室内のみ(利用無料、コピーは有料)

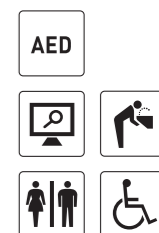
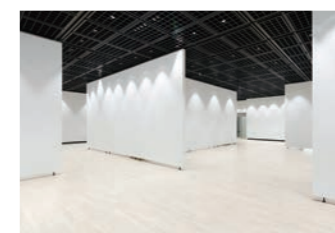
□閉架資料の請求・コピーサービス 10:00-11:30 / 13:00-17:30(火・水は10:00-17:30)

当館の収蔵作品を検索できます。



3F 展示室

当館の収蔵作品を中心に構成される展覧会のほか多様な企画展を開催しています。新しくなった可動壁を利用した機動力のある魅力的な展示をお楽しみください。



2F 展示室

当館の収蔵作品を中心に構成される展覧会および、国内外から広く作品を集めた独自の企画により、多様な企画展を開催しています。



2F ミュージアム・ショップ ナディッフ バイテン

写真と映像に関する書籍やグッズを中心に、当館で開催された展覧会図録、オリジナルグッズを販売します。海外の写真集やアート関連グッズも充実。ご来館の記念にぜひお立ち寄りください。

□営業時間／10:00-18:00(木・金は20:00)



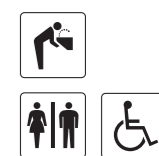
2F ロビー

吹き抜けのロビー空間は、鑑賞のご休憩にぴったりです。映像・音響設備も整っており、作品上映やレクチャーの開催も予定しています。



B1F 展示室

当館の歴史的な映像収蔵作品や現代作家の映像作品などで構成される映像展のほか、国内外の関係機関との共催展、巡回による展覧会など、各種展覧会を開催しています。



開催予定の展覧会

2016.9 - 2017.3

2016年9月3日(土)より1年間にわたり、リニューアル・オープンと総合開館20周年を記念した展覧会を開催いたします。1階ホール では上映やシンポジウムをお楽しみください。

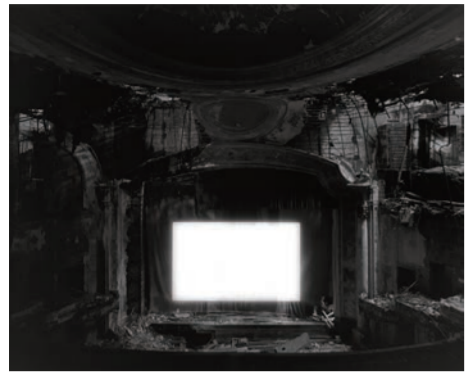
展覧会・上映・イベントの最新情報は、右のQRコードまたはtopmuseum.jpへ。
事業内容は予告なく変更される場合があります。最新情報は公式ホームページをご確認ください。



3F

リニューアル・オープン 総合開館20周年記念「杉本博司 ロスト・ヒューマン」展

Hiroshi Sugimoto: Lost Human Genetic Archive
2016.9.3|土|-11.13|日|



杉本博司は1970年代からニューヨークを拠点とし、〈ジオラマ〉〈劇場〉〈海景〉などの大型カメラを用いた精緻な写真表現で国際的に高い評価を得ているアーティストです。近年は歴史をテーマにした論考に基づく展覧会や、国内外の建築作品を手がけるなど、現代美術や建築、デザイン界等にも多大な影響を与えています。本展覧会では人類と文明の終焉という壮大なテーマを掲げ、世界初発表となる新シリーズ〈廃墟劇場〉に加え、本邦初公開〈今日 世界は死んだ もしかすると昨日かもしれない〉、新インスタレーション〈仏の海〉の3シリーズを2フロアにわたって展示し、作家の世界観、歴史観に迫ります。人類と文明が遺物となってしまうために、その行方について、杉本博司の最新作と共に再考する貴重な機会です。

■一般1,000(800)円/学生800(640)円/中学生・65歳以上700(560)円 (収)
(廃墟劇場)より『パラマウント・シアター、ニューヨーク』2015年 ©Hiroshi Sugimoto/Courtesy of Gallery Koyanagi



2F

世界報道写真展2016

World Press Photo 16
2016.9.3|土|-10.23|日|



ウォーレン・リチャードソン(オーストラリア) 2015年8月28日 レスケ(ハンガリー南部)

オランダで毎年開かれる「世界報道写真コンテスト」。本展では、8万点を越える作品から大賞など約150点の入賞作品を紹介します。今年の大賞は、警備隊に見つからないようフラッシュを使用できない月明かりの下、セルビアとハンガリーの国境を越えようとする難民の男性と子供を撮影したものです。国境の有刺鉄線付きのフェンスができるあがる前の緊迫した様子が伝わってきます。世界を駆け巡ったニュースや現代社会が抱える問題、スポーツの決定的瞬間など、普段目にすることが少ない現実を写真から知ることができます。

■一般800(640)円/学生600(480)円/中学生・65歳以上400(320)円

写真新世紀 東京展 2016

2016.10.29|土|-11.20|日| ■入場無料

上野彦馬賞

2016.11.26|土|-12.4|日| ■入場無料

総合開館20周年記念

アピチャップン・ウィーラセタクン 亡霊たち

Apichatpong Weerasethakul: Ghosts in the Darkness
2016.12.13|火|-2017.1.29|日|



《Ghost Teen》2009年

ウィーラセタクンは、タイの東北地方を舞台に、伝説や民話、個人的な記憶や夢などの題材から、静謐かつ叙情的な映像作品を制作しています。その方法は、写真やフィルム、ビデオ、インスタレーション、長編映画など多岐にわたり、淡々とした日常のなかから人間の深淵を浮かび上げさせていく一方で、タイの現代社会に関わる移民や格差、政治などの社会問題にも密接に関わっています。国内の公立美術館初の個展となる本展では、目に見えない亡霊(Ghost)をキーワードに、世界中を魅了する彼の映像世界を新作とともにご紹介します。

■一般600(480)円/学生500(400)円/中学生・65歳以上400(320)円 (収)

2017.2.10|金|-2.26|日|

APAアワード2017 第45回公益社団法人

日本広告写真家協会公募展

2017.3.4|土|-3.19|日| ■入場無料

展覧会の割引対象・無料対象について

料金表示の()内は割引料金です。割引対象・無料対象についての詳細は、裏面をご覧ください。

「ぐるっとバス 2016」対象の展覧会

「東京・ミュージアムぐるっとバス」は、東京都内の美術館・博物館等の入場券・割引券がつけられたお得なチケットブックです(2ヶ月間有効)。詳細はぐるっとバス公式ホームページをご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。



(収) 「ぐるっとバス 2016」対象の展覧会

総合開館20周年記念 TOPコレクション 東京・TOKYO

Tokyo・Tokyo and TOKYO:The TOP Collection Exhibition

2016.11.22|火|-2017.1.29|日|



ホンマタカシ(Tokyo and My Daughter)より 1999-2010年 ©Takashi Honma

当館では、約33,000点にのぼる収蔵作品から、より多くの作品をより多様なテーマでご鑑賞いただくために、毎年違ったテーマを立ててコレクション展を開催しています。リニューアル・オープン後最初のコレクション展は、「東京」をテーマに開催します。東京は、誰もがその言葉からさまざまなイメージを思い浮かべることができる都市です。しかし、そのイメージは人それぞれに異なり、一つのイメージへ集約しきれない不思議さを持っています。写真家たちは、この多層的な都市とそれぞれどのようなアプローチで対峙し、どのような視点で切り取り表現してきたのでしょうか。本展では、「東京を表現、記録した国内外の写真作品を収集する」という、当館の収集方針の一つのもとに集められた作品の中から、特に現代の作品を中心に紹介いたします。

■一般500(400)円/学生400(320)円/中学生・65歳以上250(200)円 (収)

第9回恵比寿映像祭 Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2017

■入場無料 ※定員制の上映プログラム、イベント等については有料

総合開館20周年記念

夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史

総集編 (仮称)

Dawn of Japanese Photography: The Anthology (tentative)

2017.3.7|火|-5.7|日|



《松平忠礼の妻、妻子像》(山内家写場) 1875-1880年頃

平成18年度より開催している幕末～明治期の写真・資料を調査し体系化する展覧会「知られざる日本写真開拓史」シリーズの「総集編」を開催します。幕末の開国と時を同じくして日本にもたらされた写真。それは西洋技術の象徴でした。横浜や長崎などが開港し、外国人写真師との関わりから日本人写真師たちも各地に現れました。全国の公開機関を持つ施設への収蔵調査によって選ばれた数百点の出品作品は、どれもオリジナルの「物」としての存在感に溢れています。立体展示や投影展示もあわせ、ダイナミックに初期写真の魅力をご堪能ください。

■一般700(560)円/学生600(480)円/中学生・65歳以上500(400)円 (収)

総合開館20周年記念

山崎博 (仮称)

Yamazaki Hiroshi

2017.3.7|火|-5.10|水|



《HELIOGRAPHY》1978-83年

1960年代末より活躍を続ける山崎博の、公立美術館初の回顧展を開催します。山崎は「いい被写体を探して撮る」ことへの疑いから、「被写体を選ばずに撮る」ことを模索し、窓のような制約のある風景、特徴のない単純な海景といった被写体を選び、あるフレームを設けた中で方法的な探求を行うスタイルに行き着きました。計画性にもとづく制作と、撮影行為の中で起こる偶然の要素。山崎は「計画がなければ偶然もない」と言います。代表作のほか、映像作品、未発表作品などで現代のコンセプチュアルな写真・映像の先駆者の歩みを通覧します。

■一般600(480)円/学生500(400)円/中学生・65歳以上400(320)円 (収)

支援会員 CORPORATE MEMBERS

東京写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に支援会員としてご入会いただきました。

《特別賛助会員》 キヤノン(株) (株)資生堂 全日本空輸(株) (株)ニコン	(株)アマナ (株)岩波書店 ウェスティンホテル東京 (株)潮出版 内田写真(株) (株)栄光社 (株)エスジー (株)ADKアーツ (株)NHKアート NHK営業サービス(株) (株)NHKエデュケーショナル (株)NHKエンタープライズ (株)NHKグローバルメディアサービス (株)NHK出版 (株)NHKビジネスクリエイト (株)NHKメディアテクノロジー NTT都市開発(株) 旭化成(株) 朝日新聞社 (株)朝日新聞出版 朝日生命保険(相) アサヒグループホールディングス(株) アスクル(株) (有)アスペン/POLARIS (株)アートよみり	(株)KADOKAWA カトーレック(株) 神奈川新聞社 (株)キクチ科学研究所 キックマン(株) (株)紀伊國屋書店 ギャラリー小柳 共同印刷(株) 信濃毎日新聞社 (株)写真真社 写真の学校/東京写真学園 興亜硝子(株) (株)集英社 (株)主婦と生活社 (株)主婦の友社 (株)小学館 松竹(株) (株)コスモインターナショナル (株)コーセイ コダック(同) コダックアラシスジャパン(株) オリックス(株) オリンバス(株) (株)オンワードホールディングス 花王(株) カシオ計算機(株) 鹿島建設(株)	サントリーホールディングス(株) (株)サンライズ (株)ジェイアール東日本企画 JSR(株) JXホールディングス(株) JXティイービー印刷(株) (株)シグマ (株)東急建設(株) (株)東急不動産(株) 第一法規(株) (株)ダイケングループ 大成建設(株) (株)大丸松坂屋百貨店 大和証券(株) (有)タカ・インシギャラリー 高砂熱学工業(株) (株)高島屋 (株)宝島社 (株)竹中工務店 玉川大学芸術学部 (株)新潮社 (株)スタジオアリス (株)スタジオエムジー (株)スタジオジブリ スターツ出版(株) (株)住友化学(株) サッポロホールディングス(株) 三機工業(株) 産経新聞社	セイコーホールディングス(株) (株)青春出版社 成美製版(株) (株)積水ハウス(株) ソニー(株) 損害保険ジャパン日本興亜(株) (株)シグマ (株)東急建設(株) 東京海上日動火災保険(株) 東京急行電鉄(株) 東京工芸大学 東京新聞・中日新聞社 (株)東京スタデオ 東京造形大学 東京総合写真専門学校 東京テアトル(株) 東京都競馬(株) (株)東京ドーム (株)東京ニュース通信社 (株)東京美術倶楽部 (株)専門学校 東京ビジュアルアーツ 東京メトロポリタンテレビジョン(株) (株)東芝 東宝(株) (株)東北新社 (株)東洋経済新報社	(株)テレビ朝日 (株)テレビ東京 電源開発(株) (株)電通 東亜建設工業(株) 東映(株) 東急建設(株) 東京海上日動火災保険(株) 東京急行電鉄(株) 東京工業大学 東京新聞・中日新聞社 (株)東京スタデオ 東京造形大学 東京総合写真専門学校 東京テアトル(株) 東京都競馬(株) (株)東京ドーム (株)東京ニュース通信社 (株)東京美術倶楽部 (株)専門学校 東京ビジュアルアーツ 東京メトロポリタンテレビジョン(株) (株)東芝 東宝(株) (株)東北新社 (株)東洋経済新報社	東洋熱工業(株) (株)トキワ (株)徳間書店 戸田建設(株) (株)トータルプランニング オフィス トヨタ自動車(株) (株)トロンマネージメント (株)ニコイメーティングジャパン 日外アソシエーツ(株) 日油(株) 日活(株) (株)日経BP 日光ケミカルズ(株) 日産自動車(株) (株)日本カメラ社 日本空港ビルデング(株) 日本経済新聞社 (株)日本広告社 (公)日本広告写真家協会 日本コルマー(株) (株)日本色材工業研究所 日本写真印刷(株) (公)日本写真家協会 (公)日本写真協会 日本写真芸術専門学校 (一社)日本写真文化協会	日本大学芸術学部 日本たばこ産業(株) 日本テレビ放送網(株) (株)ニッポン放送 日本ロレックス(株) (株)ニューアートディフェュージョン ノーリツ鋼機(株) (株)博報堂 (株)博報堂DYメディアパートナーズ (株)博報堂プロダクツ (株)バスキューションズ (株)ハースト婦人画報社 バナソニック(株) (株)バラゴン (株)堀内カラー びあ(株) ビービーメディア(株) 北海道写真の町東川町 東日本旅客鉄道(株) 光写真印刷(株) (株)美術出版社 (株)日立物流 (株)ビックカメラ (株)ビデオプロモーション ヒノキ新業(株)	(株)ピラミッドフィルム (株)ファーストリテイリング (株)フェドラ 富国生命保険(相) 富士重工業(株) (株)フジテレビジョン (株)双葉社 (株)ブラザークリエイト (株)プリンスホテル (株)マジンハウス (株)文化工房 (株)文藝春秋 (株)ベネッセホールディングス ベルボン(株) 北海道新聞社 (株)ホテルオークラ東京 ライオンカラー 本田技研工業(株) 毎日新聞社 (株)マガジンプラザ 九善(株) 丸光光機(株) (株)マンダム (株)みずほ銀行 三井住友海上火災保険(株) 三井住友信託銀行(株) 三井倉庫ホールディングス(株)	三井不動産(株) (株)三越伊勢丹 三越恵比寿店 三菱地所(株) 三菱製紙(株) 三菱倉庫(株) 三菱電機(株) 三菱UFJ信託銀行(株) (株)ミルボン 武蔵大学 明治安田生命保険(相) 森ビル(株) ヤマトロジスティクス(株) 読売新聞社 横河電機(株) (株)吉野工業所 (株)ヨドバシカメラ 読売新聞社 ライオン(株) ライカカメラジャパン(株) リコーイメージング(株) リシモモンジャパン(株) モンブラン (株)良品計画 (株)ロボット (株)ワコウ・ワークス・オブ・アート (株)ワコール (株)ワッupp オプトキー
---	---	--	--	---	--	--	---	---	---

(株)=株式会社、(相)=相互会社、(有)=有限会社、(学)=学校法人、(公)=公益社団法人、(同)=合同会社、(一社)=一般社団法人

(平成28年7月現在・五十音順)

東京都写真美術館 年間パスポート「TOP MUSEUM PASSPORT」

PASSPORT 2016

TOP MUSEUM

展覧会を無料、割引でご観覧いただけるお得なパスポートが出来ました。ご本人様に加えて、同伴の方1名様もご利用いただけます。展覧会だけでなく、ミュージアム・ショップでのお会計が5%引きになる(一部商品を除く)など、たいへんお得な年間パスポートです。ぜひこの機会にお求めください。

- 販売価格:1,620円(税込) ※2017年度より3,240円(税込)
- 有効期間:2016年9月3日(土)-2017年3月31日(金)
- 販売開始:2016年9月3日(土) ※枚数限定のため、予定枚数に達し次第販売終了となります。
- 販売場所:当館1階総合受付 ※販売は開館日の閉館30分前までとなります。

特典 1

展覧会を無料または割引でご観覧いただけます

- (1) 収蔵展(収のついた展覧会):無料
有効期間中は何度でも観覧いただけます。
- (2) 企画展(企のついた展覧会):
2回まで無料(2017年度以降は4回まで無料)
有効期間中お好きな企画展を2回まで(2017年度は4回まで)無料でご観覧いただけます。3回目以降(2017年度は5回目以降)は割引となります。
- (3) 誘致展:割引
- (4) 同伴の方1名様まで展覧会を無料または割引でご観覧いただけます。
収蔵展:無料/企画展・誘致展:割引

特典 2

1階ホール(上映)の割引

- ※同伴の方1名様まで:割引
- ※割引の有無および割引料金は上映作品によって異なります。

特典 3

ミュージアム・ショップでのお買い物が5%引き
(一部商品を除きます)

特典 4

カフェのランチメニューご注文時にドリンクを一杯サービス

特典 5

ワークショップの参加費割引(一部対象外の場合あり)

特典 6

(公財)東京都歴史文化財団が管理する、下記の美術館・博物館での割引

東京都庭園美術館・東京都江戸東京博物館・江戸東京たてもの園・東京都現代美術館(休館中)・東京都美術館・東京文化会館。(公財)東京都歴史文化財団各施設の割引等のご案内は各施設で承ります。

詳細とご利用時の注意事項は当館ホームページをご覧ください。1F総合受付までお問い合わせください。
特典の内容は美術館事業の運営上の都合により、やむを得ず一部変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

割引料金について

割引対象

展覧会を割引料金にてご観覧いただけます

1. 20名以上の団体のお客様 観覧料が2割引
2. 各種会員の方 観覧料が2割引
 - アトレビューSuicaカード
 - MIカード(三越伊勢丹グループのクレジットカード)
 - ウェルカムカード(訪日外国人向けの割引カード)
 - 当館映画鑑賞券提示者
 - 財団他館友の会、年間パスポート会員
 - JR東日本「大人の休日倶楽部」カード
3. 親子ふれあいデー(毎月第3土曜日と引き続く日曜日が対象) 観覧料が5割引
 - 都民で18歳未満のお子様を連れただご家族が対象です。
※詳しくはお問い合わせください。

無料対象

展覧会を無料でご観覧いただけます

1. 小学生以下
 - 障がい者手帳提示者及びその介護者(2名まで)
 - 被爆者手帳提示者及びその介護者(2名まで)
 - 愛の手帳・療育手帳提示者及びその介護者(2名まで)
 - 精神障害者福祉手帳提示者及びその介護者(2名まで)
 - 東京都内の中学生

※教育活動(スクールプログラムなど)で当館をご観覧希望の生徒と引率者は事前申告が必要です。当館までお問い合わせください。
2. シルバーデー(毎月第3水曜日)
 - 65歳以上の方 ※証明できるものの提示が必要です

FREE Wi-Fiが館内で使用できます

「FREE Wi-Fi & TOKYO」とは

外国人旅行者等が多く訪れる都立施設などにおいて、無料で利用できる公衆無線LAN(Wi-Fi)サービスです。

使用方法

1. スマートフォン、PC、タブレット端末から使用が可能です。
2. ネットワークは、「FREE_Wi-Fi_and_TOKYO」を選択します。
3. メールアドレスかSNSアカウントで利用登録ができます。

使用可能場所

各階ロビー、1Fカフェ、2Fミュージアム・ショップなど

対応言語

日本語、英語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、韓国語

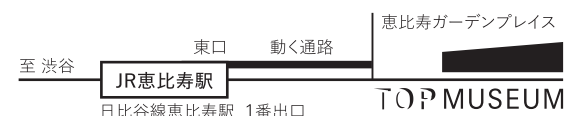
ご使用にあたっての注意

- ① 展示室内でのスマートフォン等のご使用は、展覧会によってお断りする場合がございます。スタッフにご確認ください。
- ② ホール内の映画上映中におけるスマートフォン等のご使用は、周囲のお客様の鑑賞の妨げとなりますので、ご遠慮ください。
- ③ ご利用の際には、周囲に十分注意し、立ち止まってのご使用をお願いいたします。

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
恵比寿ガーデンプレイス内 Tel.03-3280-0099
topmuseum.jp



2016年9月3日より
開館いたします

開館時間/10:00-18:00(木・金は20:00まで)、9月9日(金)・10日(土)は21:00。ただし2017年1月2日(月・振休)・3日(火)は11:00-18:00
入館は閉館の30分前まで
休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日休館、ただし1月3日[火]は開館)、年末年始(12月29日-1月1日)